平成 14 年版循環型社会白書(循環型社会の形成の状況に関する年次報告)について

第1部 序章 循環型社会におけるライフスタイル・ビジネススタイル

- リデュース(Reduce)・リユース(Reuse)・リサイクル(Recycle)を推進するリ・スタイル(Re-Style) -

循環基本計画の策定に向けた白書 - 国民へ議論喚起 -

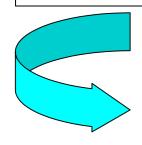
本年度は、循環型社会形成推進基本法に基づく「循環型社会形成推進基本計画」の策定を行っていく年度であり、20世紀から現在にかけての我が国の国民生活(ライフスタイル)や経済活動(ビジネススタイル)を踏まえつつ、循環基本計画に示す我が国がめざす循環型社会について考えていきます。

第1節

20世紀の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会において、豊かな物資や高度な技術進歩が暮らしを真に豊かにしたか具体的な実例により振り返ります。

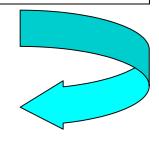
第2節

現在進められている循環型社会の形成に向けた暮らしやビジネスにおける先進的な取組について、具体的な実例により概観していきます。



第3節

平成13年7月に実施した世論調査「循環型社会の形成に関する世論調査」の結果より、若い世代ほど「現在の生活水準を落とさずリサイクルを推進すべき」との意見であるといった国民の考えを見ていきます。





第4節

我が国の循環型社会のイメージの例示として、

- A:技術開発推進型(大量循環、サーマルリサイクル推進)
- B:ライフスタイル変革型(環境調和、量から質への変革)
- C:環境產業発展型(脱物質化、高資源生産·高環境効率)
- の3つの社会シナリオについてストーリーラインを示します。
- そして、国立環境研究所と京都大学で開発した経済モデルに基づき、これら3つの社会シナリオにおける廃棄物、CO2、経済成長率について分析を行います。

インタラクティブ(双方向性)な白書 - 国民からの意見聴取 -

3つの社会シナリオをはじめ白書に対する国民の感想・意見を広く募ります。また、6月発行予定のWebマガジン「Re-Style」において、白書のテーマをフォローアップする情報発信を行うとともに、メールによる感想・意見の聴取、取材を行います。これらの意見等は、循環基本計画の策定の参考にします。